

委員長あいさつ

(一社)北海道建築士会

青年委員長 針ヶ谷 拓己

□はじめに

平成 26 年・27 年の北海道建築士会青年委員長を務めさせていただきます札幌支部の針ヶ谷です。どうぞよろしくお願ひいたします。

私が札幌支部の青年委員会へ入会したきっかけは、建築士会から届いた懇親会案内のダイレクトメール。当時、社内の現場管理部門から設計部門へ異動となつて間もない時期でした。部署内に同世代の相談相手もいなかったことから、建築士会活動に参加することで同じ仕事に携わっている「仲間」ができるのではないかと考え、青年委員会に入会しました。

あれから数年経ちましたが、まさか私が北海道本部の青年委員長になるとは……。今までは、毎年行われている事業や、指示を受けた仕事をこなしていれば、それで良かったのですが、委員長となれば、そうはいきません。青年委員長になるにあたり、まず「建築士会」の活動目的とは何なのか、どのような活動をしていくべきなのかを改めて考えてみることにしました。

建築士会綱領や北海道建築士会定款には、その目的として「社会の福祉増進と北方建築文化の進展に寄与」「建築士の品位の保持、技術の向上」という内容が謳われています。この内容をキーワードとしてまとめると、①「社会貢献」②「スキルアップ」なのかと……。そして私が建築士会で大切にしている、③「仲間づくり」を加え、この3つのキーワードを青年委員会の基本活動とさせていただきます。

□事業方針

青年委員会、今年の事業方針は「建築士会活動の推進、アピール……。

そして建築士(会)のブランド力アップ」

“地域社会や生活者” “行政や企業” “建築士” “建築士会員” から、「いいね!」と感じていただけるよう、

- ①社会貢献
- ②スキルアップ
- ③仲間づくり

という基本活動の拡充を促していくとともに、その活動を広く社会へアピールすることにより、建築士(会)のブランド力アップに微力ながら貢献していきたいと考えております。



□建築士会活動の推進

青年委員会の基本活動である、

①社会貢献 ②スキルアップ ③仲間づくり に関わる活動を全道各支部青年委員会にてすぐに行っていただきたいところですが、どんな活動をしたら良いのかわからないというのが現状ではないでしょうか。そこで、全道各地で現在どのような活動が行われているのかをみなさんに知ってほしいという思いから、各支部青年委員長に、これまで行われてきた建築士会活動(以降、地域実践活動)の概要を記載した「活動事例報告シート」を作成していただいています。このシートは、全道各地で行われている地域実践活動の事例がそれぞれ1枚にわかりやすくまとめられているもので、この「活動事例報告シート」を参考に、各支

部の活動に幅を広げていただければと期待しています。

□アピール……

平成 25 年より、一般市民を対象に「建築のお仕事体験～7 月 1 日は建築士の日～」というイベントを開催しています。将来を担う子どもたちに建築に興味をもつていただくことや、建築士(会)のアピールを目的として、札幌副都心のショッピングセンターにて、①建築のお仕事体験 ②建築設計実演 ③建築何デモ相談 ④建築士会活動パネル展示を行います。

私たち青年建築士を多くの方々知っていただける日にしたいと考えております。

□建築士(会)のブランド力アップ

近年、建築士会の会員数が減少傾向にあります。建築士会へのメリットを感じられず退会されていく方が多いのかもしれませんが、もし建築士会にブランド力があればいかがでしょうか?名刺に建築士会会員という肩書きがあれば、お客さまからの信頼度がアップするとか……。ブランド力向上には必然ながら建築士会員の資質向上が求められます。さらには一般市民からのニーズを踏まえた上で、より建築士会をアピールする活動が必要になってくるのではないのでしょうか。

“地域社会や生活者” “行政や企業” “建築士” “建築士会員” から認められる「会」となるよう、①社会貢献②スキルアップ③仲間づくり という基本活動を活発に行うことこそがブランド力アップに繋がると私は思います。

微力ながら、建築士会のブランド力アップに、青年委員として、少しでも貢献できるよう努めていきたいと考えております。